

事前の  
チェック

- ①ペンキの塗膜に吸水性がないか確認する。  
(吸水性がある場合は、水性ペンキ下地への施工方法を参照)  
②ペンキの塗膜に剥がれや浮きがある場合は、ペンキを落としてください。

## ■施工手順

## 1. 養生



- ①床、枠廻り、柱、巾木、見切り等にパテ、接着剤等が付着しないように養生する。

## 2. 捨て糊処理



- ①「プラゾールSS」を原液又は、約10%の水で希釈し、刷毛、ローラーにて下地全面に均一に塗布する。  
(塗布量の目安：125g/m<sup>2</sup>)  
※施工前にクラフトテープによる簡易チェックを行ない、「プラゾールSS」の密着状態を確認してください。  
※「プラゾールSS」の密着が悪い場合は、事前にサンディング処理を行ってから捨て糊してください。  
②完全に乾燥させる。

## 3. パテ処理



- ①欠損部、クラック等を「水性リフォームパテW」でパテ処理し、下地を平滑化する。  
②完全に硬化乾燥させる。

## 4. 壁紙貼り



- ①壁紙施工用接着剤「ルーアマイルド」等を規定量の水で希釈し、糊付機にて壁紙裏面に均一に塗布する。  
(塗布量の目安：135g/m<sup>2</sup>)  
②養生袋「カンガルー」内で、壁紙に適したオープンタイムを取った後、壁紙を下地に貼り合わせる。  
③ジョイント部を重ね切りする際は、下地を切らないよう下敷きテープ(下敷テープFUJIKO・MOMOKO等)を使用する。  
④コーナー部分等の剥がれ防止に、「ジョイントコークA」を内コークにて注入し、壁紙を納める。

■使用商品 (施工m<sup>2</sup>数)

## ●プラゾールSS



商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
220-222	3.5kg(x4)	28m <sup>2</sup> /3.5kg (捨て糊)

ホームアルデヒド放散量基準

F★★★★

●水性  
リフォームパテW

商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
273-722	3.5g(x4)	—

ホームアルデヒド放散量基準

F★★★★

## ●ルーアマイルド



商品番号	荷姿	施工m <sup>2</sup> 数の目安
213-701	18kg	180m <sup>2</sup> /18kg

JIS・F★★★★

## ■注意事項

- ①ペンキの塗膜に剥がれや、浮きがある場合、ケレン等で搔き落としてください。  
②表面に汚れが付着している場合は、汚れを落としてから施工してください。  
③「プラゾールSS」を使用する際は、事前に下地へ試験塗布し、乾燥後クラフトテープを貼り、剥離しないか確認した後、施工してください。  
④施工は5℃以上で行ってください。  
⑤はみ出したパテ、接着剤等は直ちに清水にて拭き取ってください。  
⑥壁紙の種類によっては接着しにくいものもありますので、試験施工した上で施工してください。  
⑦通気性の少ない壁紙の場合、壁紙施工後に膨れが生じる事がありますので十分注意してください。  
⑧極端に湿度が高くなる環境下、あるいは伸縮性の大きい壁紙を施工される場合などは、「ルーアマイルド」等の壁紙施工用接着剤に「プラゾールSS」または「プラゾール100S」を10~20%添加し、補強してください。  
⑨壁紙施工後、1週間程度は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めてください。  
⑩使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、十分ご理解いただいた上でご使用ください。